



竹内 松彦 議員

小学生海外派遣事業の今後は 事業を継続



万博の剰余金で始まった小学生海外派遣事業も余すところ、平成23年度をもって終了と聞いているが以下3点について伺う。

①一人当たりの費用は。

②派遣生のその後の調査はしているか。

③町単独行事として行っていくことはできないか。



①本年度の児童一人当たりの派遣費用は、21万2330円で、参加者負担金として3万円を負担してもらっている。

②派遣生のその後の調査は行っていないが、児童一人一人が学んできた多くのことを他の児童に伝え、全児童が海外に目を向け、国際理解のきっかけとしていくことが、本事業の生かし方であると考えている。

③愛知県フレンドシップ継承交付金は平成23年度で終了するが、平成24年度以降も事業を継続する。



海外派遣事業報告会



シンガポールにて

交通災害共済残金のその後は

交通安全に使用



平成19年に終了した交通災害共済、その共済金の返金で購入した青パトに関して、3点について伺う。

①各学区に購入した青パトの費用は。

②1台当たりの経費は、学区によって違うと思うがいかがか。

③無駄な走りはないか、また無駄な使用はないか。



①防犯パトロール車を4台購入したが、1台当たり183万7500円、4台で735万円である。

②ガソリン代が主で平成21年度月平均額は、東部小1813円、英

比小3433円、草木小2924円、南部小1576円である。

③使用する団体は、使用基準によりあらかじめ許可を得てから使用しており、無駄はない。



パトロール中